

平成25年度 第1回 事業普及委員会翻訳分科会  
議 事 概 要

I. 日 時 平成25年10月24日(木) 10:30~12:00  
場 所 私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 山本主査(ネット参加)、吉田委員、田村委員、藤沢委員  
(事務局 井端事務局長、平田職員)

III. 検討事項

委員紹介の後、活動内容について事務局の説明をもとに確認を行った上で、今年度翻訳いただく内容や作業手順や分担について検討し、以下の通り決定した。

1. 活動内容についての確認

本協会が刊行する機関誌「大学教育と情報」において、教育へのICT活用に関する海外の情報を提供し、本協会の翻訳著作物としての適切性を確保するため、主に、米国のEDUCAUSEや関連団体から発刊された刊行物を中心に分科会組織で翻訳・監訳作業を行い、時機に適った情報を提供することを確認した。

2. 翻訳内容

本分科会を設定している事業普及委員会において、本年度はEDUCAUSEの刊行物ではなく、新聞記事でも紹介されていたサンノゼ州立大学でのMOOCを活用した反転授業紹介について翻訳し、機関誌の12月号に掲載することが決定しており、原文は現在、執筆中となっている。翻訳分科会には原稿が届き次第、事務局よりメールで送付する予定であることを事務局から報告した。

3. 翻訳体制・作業手順、分担

(1) 翻訳作業は下訳は原文の分量により委員1~2名で対応し、監訳は主査が行い、事務局が作成したWordによるワークシートを下訳担当委員に送り、委員はワークシートに和訳文を入れ、事務局に返送する。監訳は、事務局から送付された下訳(ワークシート)について、日本で一般的に認知されている用語の使用、用語の統一、理解しやすい文章等の視点から見直し、まとめることを確認した。

また、訳文の「かな」・「漢字」の使い分けなど表記統一は、機関誌の編集方針に基づいて、事務局で最終的に行うことを確認した。

(2) 今回の下訳は委員2名で対応し、監訳は主査が担当することに決定した。

(3) 機関誌の12月号に掲載のため、下訳は2週間程度、監訳は1週間程度と厳しいスケジュールで作業をいただくことを確認した。

以上